

「特別な日」

校長 江口 満



毎朝温かい挨拶と登校指導をされるI先生

の季節が、今年2月19日(月)の「雨水」。この日を目安に、昔から農耕の準備が始められたそうで、一雨ごとに春の訪れを感じる。

また、三年生の皆さんの「おはようございます。」という挨拶にも、春というか、青春を感じる。どちらかというと、一年生の後半から二年生の時期は、恥ずかしく感じる時期なのだろうか、思春期のど真ん中で声も小さい。というか知らん顔。まあ、誰もが通る成長の一過程。しかし三年生



のこの時期の挨拶は、明らかに変わる。入試や進路の決定を控え、先生方や家族の支えを感じているのか。仲間と三年間、共に活動してきたことの自信と成長を自ら感じているのか。明らかに今までと違って、挨拶一つとっても頼もしく感じる。中学生というこの三年間の成長は、目覚ましい。まさに教員の醍醐味を感じさせてくれる一瞬だ。



I先生の指導で正門の花壇に花の苗を植える6組の皆さん



そして3月まであとわずか。今年の「啓蟄」は3月5日(火)。暗い土の中でじっとうずくまっていた虫たちが春の気配を感じて、もぞもぞと活動を開始し、人も何となくうきうきして、大きく背伸びして、動き始める季節だ。そしてこの日、三年生の皆さんは、公立高等学校入学選抜学力検査を迎える。学力検査を受検する三年生の皆さんの今の心境と体調はいかがだろうか。そして週末の3月8日(金)、いよいよ卒業だ。(裏へ)

【左】2月の第三週、校務員のI先生の指導のもと、技術科の栽培分野で正門前歩道の花壇に花の苗を植える二年生の皆さん。卒業式や入学式に色どりを添えてくれます。



10月6日(金)三年進路説明会の様子。本年度

は保護者の方々にもお越しいただきました。三年生の希望をもとに、県立高校7校、私立高校6校の先生方からお話を伺いました。【右上】東筑高等学校【右下】折尾高等学校



私も十五の春、中学三年生のこの時期を経験し、高校入試という「特別な日」のことを今でも鮮明に覚えている。

朝、5時30分。目覚まし時計に起こされる。外はまだ暗い。身体はまだ睡眠からさめたばかりでボーとしているのに、いよいよ本番という意識で、頭はさえている。味噌汁と目玉焼きの朝食。家族もみんな緊張してくれている。荷物を確認し、三ヶ森電停まで歩き、電車に乗る。高校の集合場所までの間、なんだかふわふわし、雲の上を歩いているようで、全く地に足がついていない。体育館で諸注意を受ける。大きな体育館で、受検生も多い。検査場の教室に入室。検査用紙が配られる。問題をどう解いたのか。国語と数学のあたりまでは、なんとか記憶があるが、あっという間に終わってしまった。「今まで頑張ってきたことが、こんなにも簡単に終わってしまうんだ。」と、なんだか物足りなさを感じた。ただ居ても立っても居られない気持ちになり、友だちと家まで歩いて帰った。私にとって、初めての「特別な日」が終わった。

人が生きていく間に、その人にとっての「特別な日」があると思う。その「特別な日」に向け、計画し、準備する。その準備期間が長ければ長いほど、そしてその準備に心を込めて頑張れば頑張るほど、その「特別な日」は、いとも簡単に終わってしまうような気がする。計画や準備していた時の方が、楽しく充実していたような気さえてくる。だから、この「特別な日」こそ、もっと平常心で迎え、心から楽しめないのかと、つい思ってしまうのだ。



11月30日(木)PTAからご支援をいただき開催した一年生キャリア教育授業の様子。10業種11名の職業人の方にお越しいただき、「働く」ことへの理解を深めることができ、職業人としての在り方を考える機会となりました。



支えていること」などを糧に働いている方々も誇らしいと感じました。

原料メーカー会社の方々は、実際に私たちが接することがないけれど、私たちの生活に欠かせないテレビの部品やプラスチックの原料、物を作るための薬品を取り扱っているそうです。火災や薬品の危険と隣り合わせで働いていると聞き怖くて恐ろしいことだけど、それが日々の仕事なんだと知ることもできました。

私もこれから自分の将来に向けて歩んでいく時、今働く大人の方々からのアドバイスをもとに、まっすぐ自分の道を進んでいきたいと思います。自分の将来を楽しみにするために、今後も学習や運動などの生活力を積んでいきたいです。



さて、2月に入り、三年生の皆さんから「面接練習、有り難うございました。お陰で無事合格しました。」というお礼の言葉を沢山いただいた。わざわざ校長室まで届けてくれた。満面の笑顔と、ひと回り大きく成長した姿に、私の心はとても温かくなった。

「感謝する気持ちや感動との出会いは、毎日を、『特別な日』に変えてしまう。」ということ、私にそっと、教えてくれたような気がした。そう考えると、三年生の皆さんにとって、三年間の中学校生活一日一日は、かけがえのない「特別な日」の連続だったのかもしれない。

さあ、3月5日(火)は、学力検査を受検する三年生にとって、準備に準備を重ねてきた「特別な日」だ。今まで長い間頑張ってきたのだからこそ、心を落ち着かせ、平常心で「特別な日」を迎え、そして十五の春のこの「特別な日」を、心から楽しんでみてほしい。心から応援している。

「自分の将来を楽しんで」 1年3組 Sさん

様々な職業の方の話を聞いて、私の心にグッと残ったのは、「自分の好きなことを職としてやっている」という言葉です。また「人のために役立っていることからのやりがい」「地味に見えるかもしれないがしっかりと身の回りを

